

2021年11月22日
損害保険ジャパン株式会社

長野県内で初となる市街地の一般公道におけるバス型自動運転EVの走行実証に参加

損害保険ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：西澤 敬二）は、アイサンテクノロジー株式会社（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：加藤 淳）および株式会社ティアフォー（本社：愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉）と共に、長野県内で初となる「市街地の一般公道におけるバス型自動運転EVの走行実証」に参加し、自動運転リスクアセスメント^{※1}および自動運転専用保険を提供いたします。

1. 実証実験の背景

3社は、長野県塩尻市においてより暮らしが便利になる公共交通を目指し、一般財団法人塩尻市振興公社（所在地：長野県塩尻市、理事長：古畑 耕司）を代表団体とする自動運転車両やAI活用型オンデマンドバスなどの実証実験に、2020年度より参加してきました。

2021年度の実証実験では、EV（Electric Vehicle／電気自動車）を用いて、長野県で初めて一般公道にて「自動運転レベル2」^{※2}で走行する実証実験に参加いたします。

本実証実験では、自動運転技術のみならず、低炭素型交通の確立に向けて国土交通省が推進しているグリーンローモビリティ^{※3}の実験を兼ねての実施するため、低速（時速約20km）で一般公道を走行いたします。

2. 実証実験の目的

塩尻市は、2つのJR駅を中心にそれぞれ形成された市街地とその周辺に点在する農山村地域からなるコンパクトな田園都市で、コミュニティバスを中心とした地域公共交通が運用されていますが、ドライバーの担い手不足や、移動ニーズと路線・ダイヤとの乖離等の課題解決を行うことが必要となっています。本プロジェクトでは、持続性の高い地域公共交通を構築するため、拠点内移動のオンデマンド化と拠点間移動を自動運転化し、双方をシームレスに接続し”塩尻 MaaS”として官民連携体制で運営することとしています。

また当社は、2020年1月に、塩尻市を中心とした自動運転技術実用化に向けた包括連携協定に中心企業として参画しており、市内での自動運転実証実験を進める準備を進めてきました。本プロジェクトと連携することにより、更に実用的で公共交通に資する実証実験として、将来の自動運転レベル4^{※4}の実用化を目指した取り組みを積極的に進めて参ります。

3. 実証実験の概要

実施期間：2021年11月24日（水）～11月28日（日）

実施時間：午前9時頃から午後4時頃まで

走行ルート：広丘駅西口～無印良品／ツルヤ塩尻広丘店の区間

走行距離：約3.8km

所要時間：約30分

詳細はこちらよりご確認頂けます

<https://www.city.shiojiri.lg.jp/soshiki/10/16207.html>（長野県塩尻市ホームページ）

【実施体制について】

全体統括：一般財団法人塩尻市振興公社、塩尻市

実証実験統括：アイサンテクノロジー株式会社

協力企業：株式会社ティアフォー、損害保険ジャパン株式会社 等

【実験車両について】

タジマ社製の GSM8（手動運転車両／10名乗り）を自動運転対応車両に改造



【用語解説】

(※1) 自動運転車の安全な走行と運用を支援するため、実証実験の計画段階から走行ルート案における危険シナリオを洗い出し、それらの危険度を評価して、適切な対策を講じることで、安全な走行を支援するソリューション。

(※2) 運転者が操作の責任を担い、特定条件下においてハンドル・アクセル・ブレーキなどの一部操作をシステムが自動で行う。

(※3) 時速20km未満で公道を走ることができる電動車を活用した小さな移動サービスで、その車両も含めた総称。

(※4) 特定条件下においてシステムが全ての運転タスクを実施する。

以上